

2014年度学校法人事業報告

当年度は国内外の激しい情勢変化を背に負いつつ、本学園の教育・経営を破たんさせないよう足もとに注意し、かつ明るい展望を切り拓く幻を求めながら、渾身の努力を傾注した時期でした。

ヴォーリズ没後50年を記念して、市民の手で「ヴォーリズメモリアル in 近江八幡」が開催されました(10/4～11/3)。学園には、ヴォーリズデー(11/2バザー、オープンキャンパス)も含めて1万人以上の方がお越しになり、ヴォーリズの偉大さを再認識いたしました。

これを機に校名変更を提起し(1964年、2004年に次ぎ三度目)、評議員ほか関係者の意見を聞き、理事会で慎重に検討した結果、校名を変更せず、法人名を変更することとし、2015年4月1日実施を目標に準備を進めました。

法人名変更は、当学園の創始を「ヴォーリズの教育事業開始＝1905年」に置かんとするものであり、その結果、学園史の修正および「近江兄弟社学園創立100周年記念事業」計画の見直しが必要となり、その際、50年前の理事会決議「高等学校の充実を計ること」を最重点課題にいたしました。

この重大な時期に、高等学校が厳しい情勢(県内私立高校の大半が定員割れ)を克服して15年度定員を確保したことは、校長以下教職員が一丸となって奮闘された結果であると評価します。

中学校は過去最多の受験者を迎え、苦渋の決断で1学級増としたことは、学校運営・教育・経営上のリスクはありますが、基本的に感謝すべきことであります。その理由・原因として「施設充実」「落ち着いた教育環境」「進路の自由」等が挙げられますが、結果として「中高のかい離」「学内進学率の減少」という副作用が生じました。これらの矛盾は当座は苦しみではありますが、それを克服しようとする努力・忍耐力が次の発展・希望につながりますから、大いに苦しみたいと思います。

小学校の浅小井校地移転は、同校を自立・存続・発展させるための大決断でありましたが、学校存続の基本的条件である入学者は2014年度27名、15年度24名と停滞しております。理事会は50年来「自主自立」を強く求めてまいりましたが、まず定員確保が必要であります。

こどもセンターは「子育て新制度」への準備に追われましたが、3月になってようやく国・県より「こども園は学校である」旨の通知が来て、寄付行為を変更することができました。

聖書は、苦難が希望を生むとは語らない。苦難から希望までの間に忍耐を要し、その忍耐によって練達の域に入り、そこではじめてその道程に希望が芽生えはじめると教えています(パウロよりローマの信徒への手紙)。

本学園の当面する諸矛盾の克服は小手先の改善ではなし得ません。大きな発想と器量をもって発展させたいものです。そこに苦難は避けられないものとして横たわっております。

財務報告(2014年度財務状況概要)

(1) 資金収支計算書

「資金収支計算書」は、学校法人の当該会計年度の諸活動に対する、すべての収入・支出の内容を明らかにするものであります。

以下に、主な科目についての経年比較資料を掲示いたします。

① 資金収入 (単位千円)

	2010	2011	2012	2013	2014
納付金等収入	1,142,267	1,134,406	1,129,052	1,168,037	1,176,337
手数料収入	34,210	35,639	35,481	35,732	34,649
寄付金収入	15,264	25,071	17,011	16,373	25,785
補助金収入	879,158	633,996	995,410	1,024,234	1,108,168
事業収入	264,972	373,972	79,770	146,620	161,588
雑収入	29,301	68,109	68,792	53,611	57,420
借入金等収入	906,000	0	0	0	39,000
前年度繰越支払資金	249,735	368,444	379,972	338,649	332,938
収入の部合計	3,898,861	2,836,819	2,721,652	2,825,139	2,939,070

② 資金支出 (単位千円)

	2010	2011	2012	2013	2014
人件費支出	1,229,514	1,398,340	1,428,872	1,560,842	1,611,207
経費支出	466,621	510,574	527,401	580,243	616,220
借入金利息支出	20,457	20,775	20,195	18,274	15,356
借入金返済支出	288,472	375,856	135,402	104,728	94,991
施設関係支出	1,240,461	122,945	99,433	47,239	42,055
設備関係支出	254,345	50,788	34,192	61,647	60,038
資産運用支出	406	266	105,476	100,265	150,335
次年度繰越支払資金	368,444	379,972	338,649	332,938	330,137
支出の部合計	3,898,861	2,836,819	2,721,652	2,825,139	2,939,070

(2) 消費収支計算書

「消費収支計算書」は、当該会計年度における消費収支の均衡状態とその内容を明らかにし、学校法人の経営状態が健全であるかどうかを示すものです。

① 消費収入 (単位千円)

	2010	2011	2012	2013	2014
学生生徒納付金	1,142,267	1,134,406	1,129,052	1,168,037	1,176,337
手数料	34,210	35,639	35,481	35,732	34,649
寄付金	19,291	28,445	21,692	22,517	27,729
補助金	879,158	633,996	995,410	1,024,234	1,108,168
事業収入	264,972	373,972	79,770	146,620	161,588
雑収入	33,100	68,109	68,792	53,841	57,420
帰属収入合計	2,375,280	2,276,241	2,331,877	2,453,168	2,568,560
基本金組入合計	△623,840	△200,434	△389,203	△308,331	△319,051
収入の部合計	1,751,440	2,075,807	1,942,673	2,144,836	2,249,509

② 消費支出 (単位千円)

	2010	2011	2012	2013	2014
人件費	1,229,514	1,398,538	1,428,674	1,560,842	1,611,207
経費	647,217	778,432	778,658	837,977	884,359
借入金等利息	20,457	20,775	20,195	18,274	15,356
支出の部合計	1,908,386	2,200,129	2,227,997	2,418,205	2,512,206
当年度消費収入超過額					
当年度消費支出超過額	156,946	124,321	285,323	273,369	262,696
前年度繰越支出超過額	1,523,735	1,680,681	1,805,003	2,090,326	2,363,695
翌年度繰越支出超過額	1,680,681	1,805,003	2,090,326	2,363,695	2,626,392